NAOSITE: Nagasaki University's Academic Output SITE

Title	生活の中の技能 ～その習熟度～（調査報告書）
Author(s)	古谷, 吉男; 宮本, 隆
Citation	生活の中の技能 ～その習熟度～（調査報告書）; 2012
Issue Date	2012-02
URL	http://hdl.handle.net/10069/31976
Right	

This document is downloaded at: 2015-11-05T16:54:34Z

http://naosite.lb.nagasaki-u.ac.jp

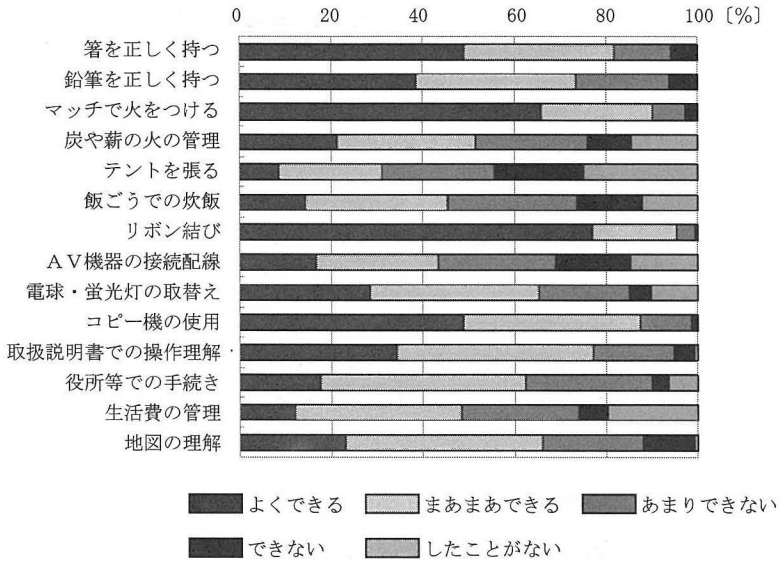
第　2　部

教員養成系大学・学部生の生活技能について

第１章　１年生の生活技能

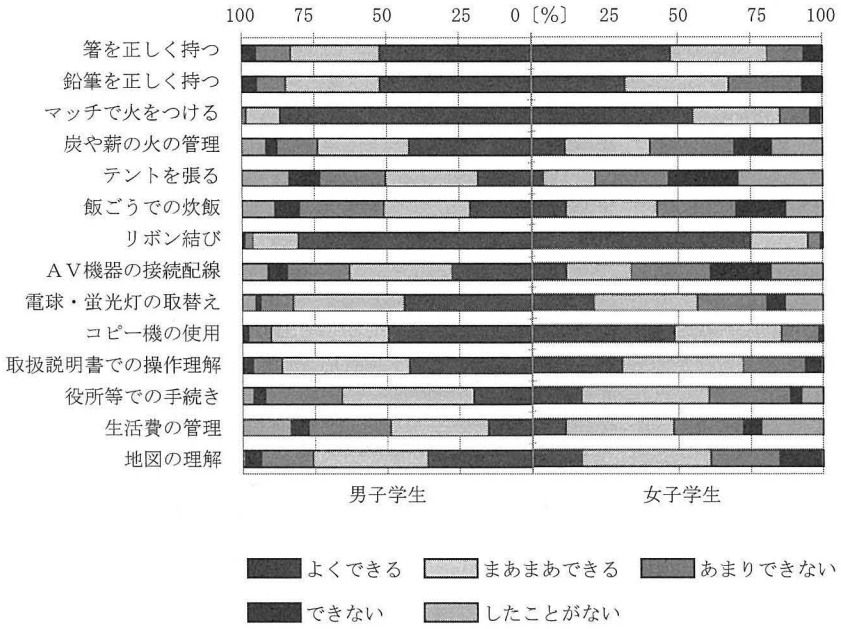
１．生活一般に関する技能

１－１．生活一般に関する技能の習得状況



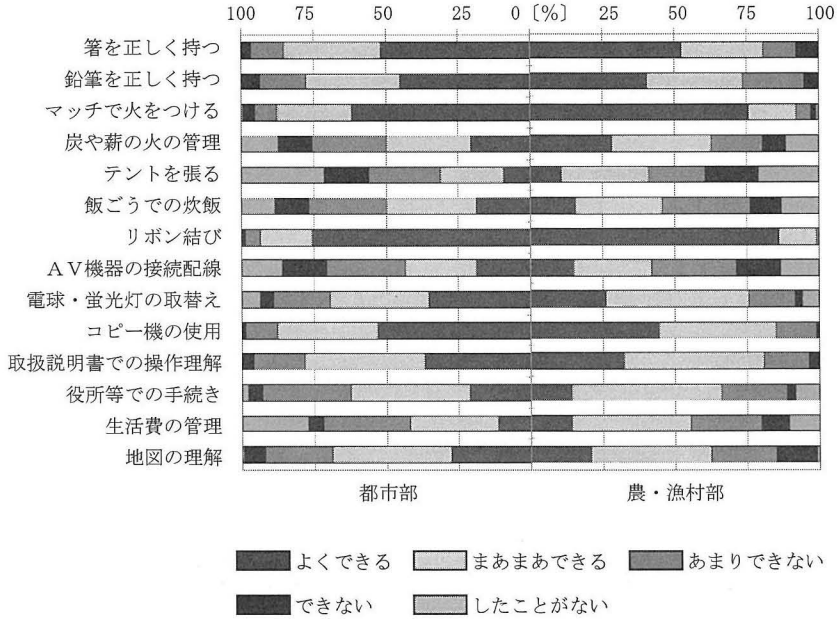
箸や鉛筆を正しく持つことが「よくできる」と回答した学生は半数以下であり、できないと自覚している学生は箸では約 2 割、鉛筆では約 3 割もいる。「炭や薪の火の管理」「テントを張る」「飯ごうでの炊飯」などの野外活動に関する技能についても「まあまあできる」を含めても半数を下回り、「したことがない」という回答も 1～2 割程度ある。「ＡＶ機器の接続配線」や「電球・蛍光灯の取替え」などの普段の生活に必要と思われる技能についても低く、「役所等での手続き」や「生活費の管理」も同様に低いことから、まだ自立できていない現状がうかがえる。

１－２．生活一般に関する技能の男女別習得状況



全体的に男子学生の方ができる傾向にある。特にマッチで火をつけるやテントを張るなど、野外活動に関する技能では圧倒的に男子学生の方が高い。また、ＡＶ機器の接続配線や電球・蛍光灯の取替えなど電気機器の設置・操作などに関しても男子学生が非常によくできる。

１－３．生活一般に関する技能の地域別習得状況

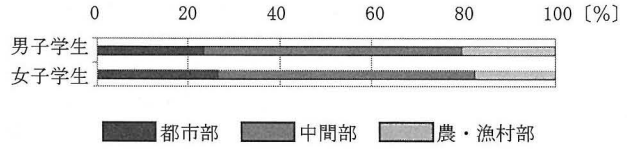


全体的に都市部の方ができる傾向にあるが、マッチで火をつける、炭や薪の火の管理、テントを張るなど、野外活動にかかわる技能は農・漁村部の方が高い傾向にある。

また、生活費の管理なども農・漁村部の方が高い。

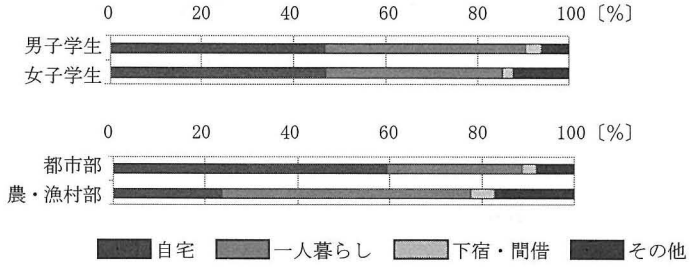
１－４．生活一般に関する技能の関連設問

（１）高校までの生活環境



男女によって、大きな差は見られない。

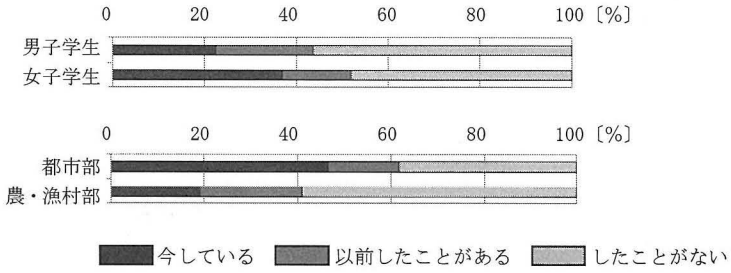
（２）現在の生活状況



男女で大きな差はないが、女子学生の方がその他の割合が高い。

都市部の学生の多くは自宅から通っているが、農・漁村部の学生の多くは一人暮らしをしている。

（３）アルバイトなどの就業体験

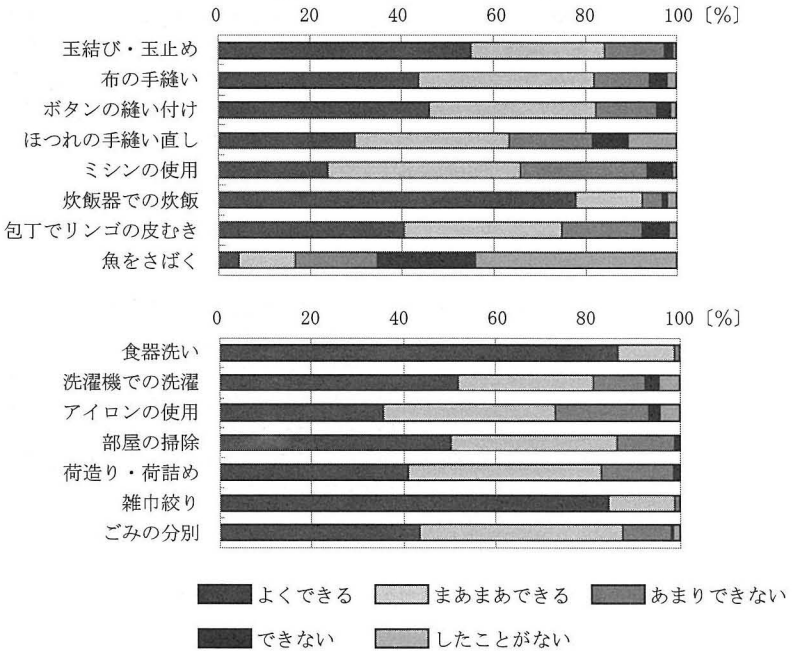


男子学生に比べ、女子学生の方がアルバイト経験が多い。

都市部の学生の方がアルバイトをよくしている。

2．調理・裁縫／掃除・整理整頓に関する技能

2－1．調理・裁縫／掃除・整理整頓に関する技能の習得状況



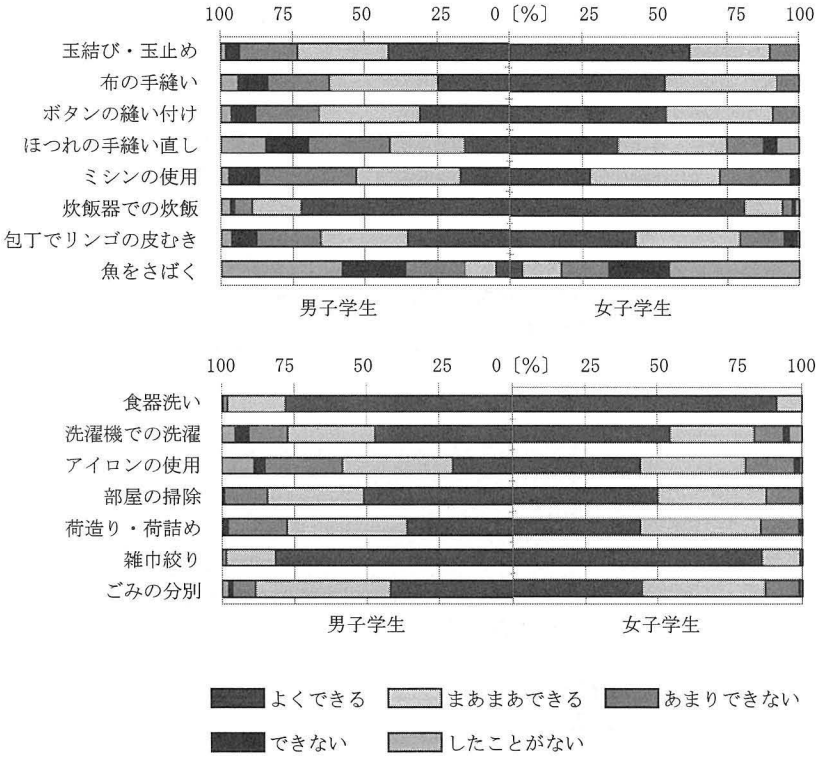
調理・裁縫について見てみると、「玉結び・玉止め」「布の手縫い」「ボタンの縫い付け」などは家庭科での学習の成果なのか8割以上ができると回答しているが、「ほつれの手縫い直し」や「ミシンの使用」となると 2 割程度低下している。特に「ほつれの手縫い直し」については「したことがない」が 1 割程度あり、修理をしないという近年の消費社会を反映しているようだ。「炊飯器での炊飯」はさすがに8割近くが「よくできる」と回答しているが、包丁の使用となるとあまり自信が無いようである。特に半数近くの学生は「魚をさばく」という経験も無く、切り身での販売などの利便性やインスタント食品などの簡略化という調理方法の変化が反映しているのではないかと考えられる。

掃除・整理整頓について見たところ、「まあまあできる」を含めると8割程度ができると回答しているなど全体的に高いことが分かった。小学生を対象に行った調査結果ではあまり高くなかった*ことから、中学・高校を経て意識が変わってきたことが読み取れる。

---

*第1部 掃除・整理整頓に関する技能の習得状況（p.1）を参照

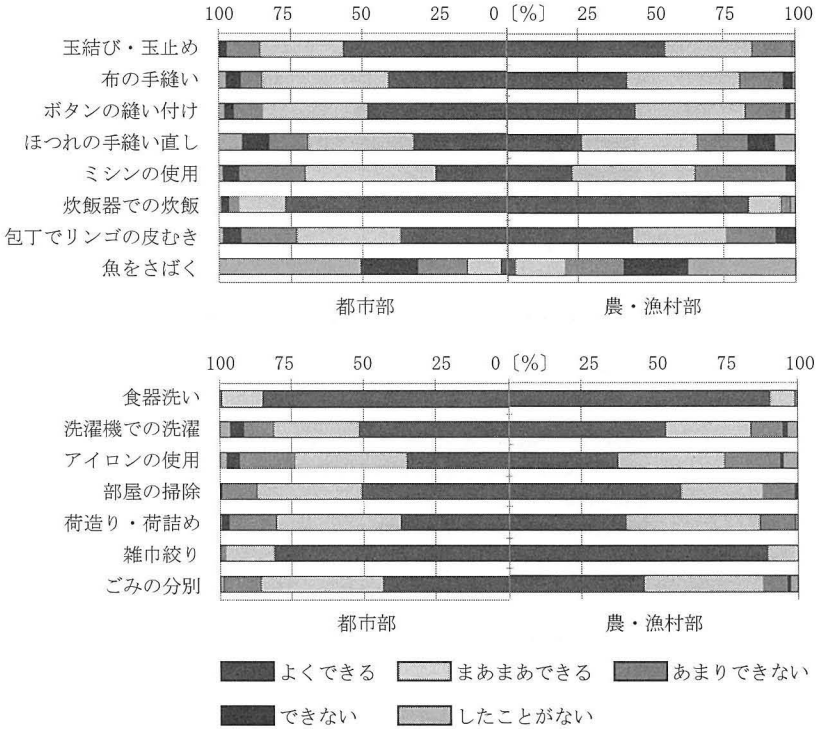
２－２．調理・裁縫／掃除・整理整頓に関する技能の男女別習得状況



炊飯器での炊飯や魚をさばく技能に関しては男女でほとんど差がないが、その他の技能では圧倒的に女子学生の方がよくできる傾向にある。特に裁縫に関する技能については「できない」「したことがない」がほとんどない。

掃除・整理整頓に関する技能はさほど大きな差はないが、若干女子学生の方が高い。その中でもアイロンの使用は女子学生の方が倍以上あり、非常に高い傾向にある。

2－3．調理・裁縫／掃除・整理整頓に関する技能の地域別習得状況

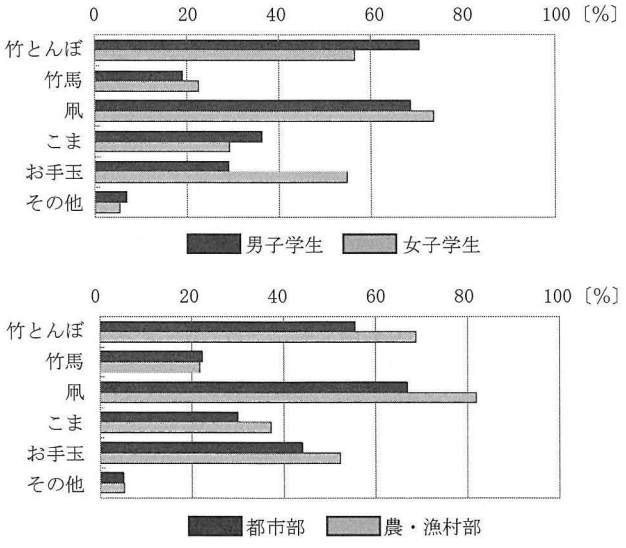


調理・裁縫に関してはあまり目立った差は見られないが、魚をさばくに関しては農・漁村部の方がやや高く、また、したことがない割合も低い。

昔のおもちゃづくりの経験は？

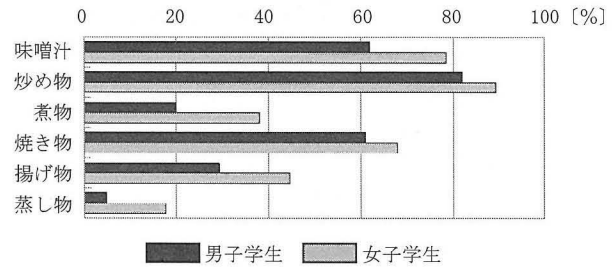
小学生の結果（p.2）と比べても大きな違いは見られない。お手玉以外でも凧や竹馬などは女子学生の方が男子学生に比べ、経験が多い。

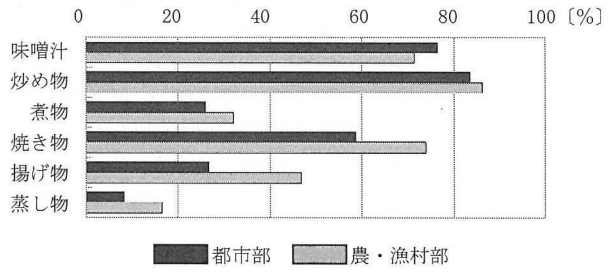
都市部より、農・漁村部の学生の方が約1割程度、昔のおもちゃづくりの経験が多い。しかし、竹馬については農・漁村部でもあまり経験がなく、ほとんど差がない。



２－４．調理・裁縫／掃除・整理整頓に関する技能の関連設問

（1）一人で調理できる料理

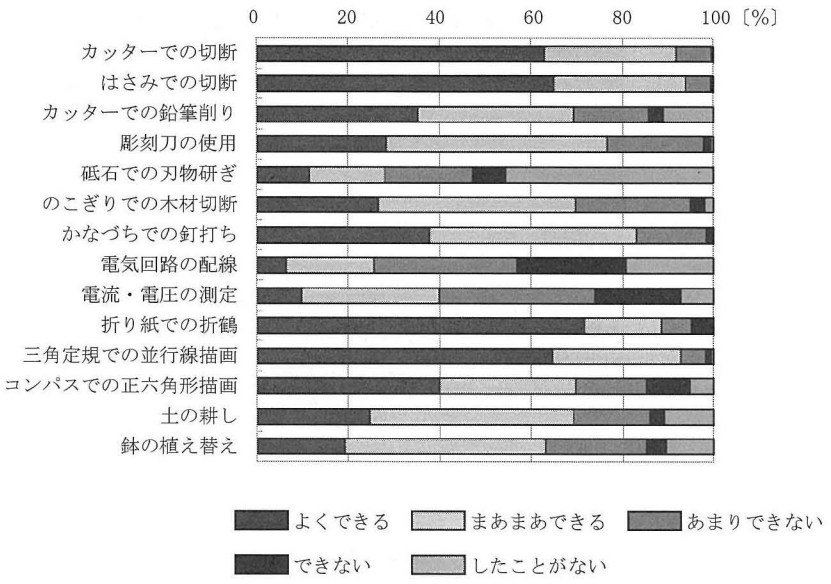




全体的に農・漁村部の方が高く、揚げ物や蒸し物など手の込んだ料理ほど、差が大きい。

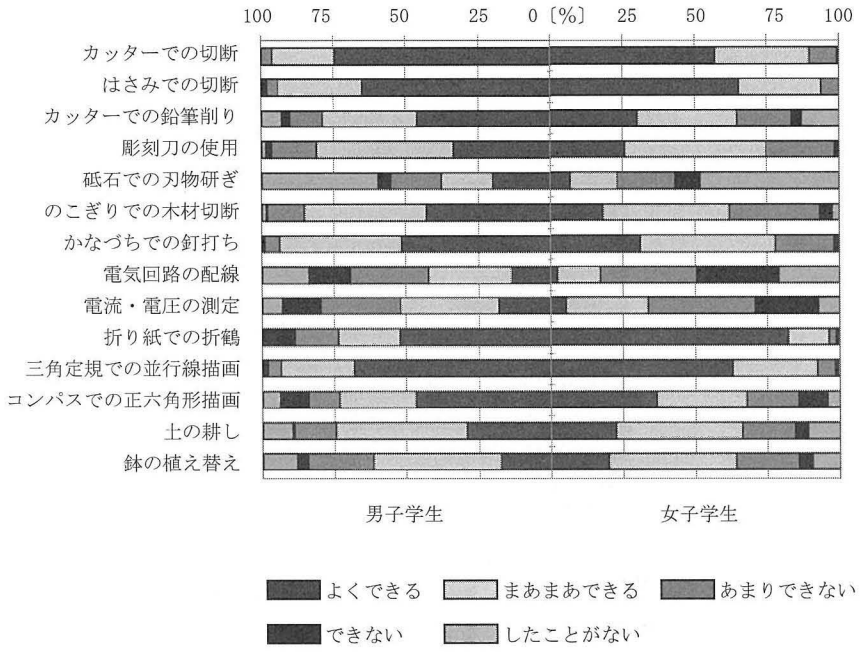
３．工作・栽培に関する技能

３－１．工作・栽培に関する技能の習得状況



工作・栽培について見てみると、はさみやカッターナイフ、彫刻刀、鋸、金鎚などの工具の使用についてはある程度できるようだが、「砥石での刃物とぎ」は半数近くが経験したことが無いようだ。また、「電気回路の配線」「電流・電圧の測定」など電気に関する技能は非常に苦手な傾向にあることが分かる。栽培に関する技能はやや低いようで、「したことがない」も１割程度あった。

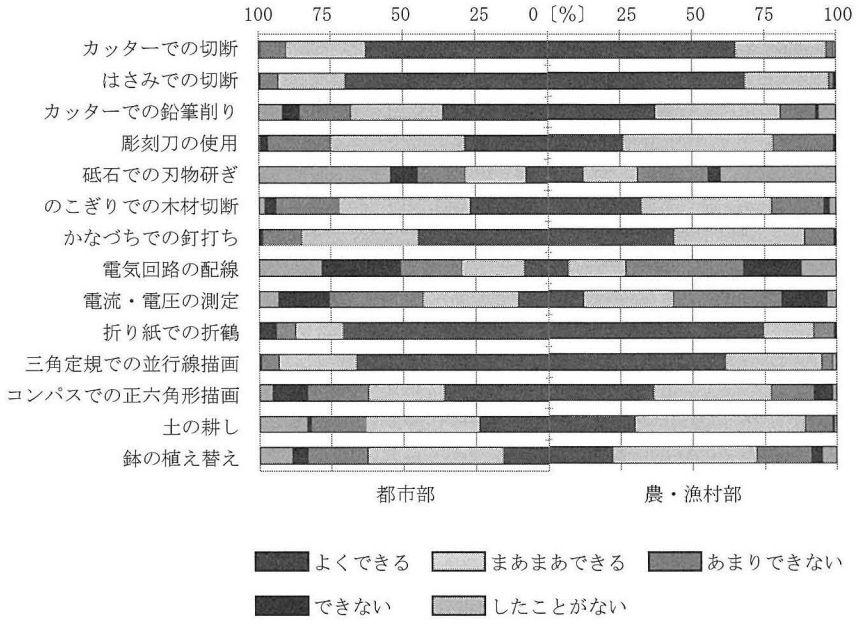
３－２．工作・栽培に関する技能の男女別習得状況



はさみでの切断は男女でほとんど差がないが、その他の工作に関する技能は圧倒的に男子学生の方がよくできる傾向にある。また折り紙での折鶴は女子学生の方が高く、男子学生は「できない」の回答も多い。

栽培に関しては、土の耕しは男子学生が高いが、鉢の植え替えは差がほとんどない。

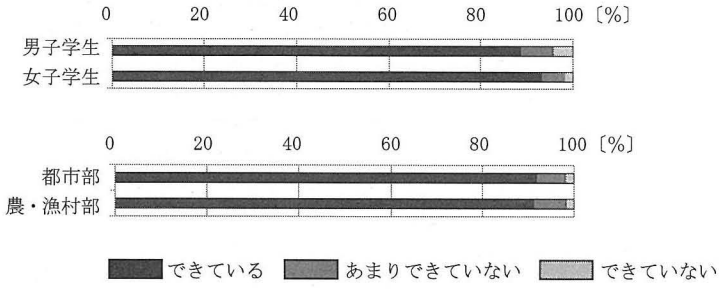
３－３．工作・栽培に関する技能の地域別習得状況



全体的に大きな差は見られないが、農・漁村部の方が「したことがない」の割合が低い。また栽培に関しては、農・漁村部の方がやや高い傾向にある。

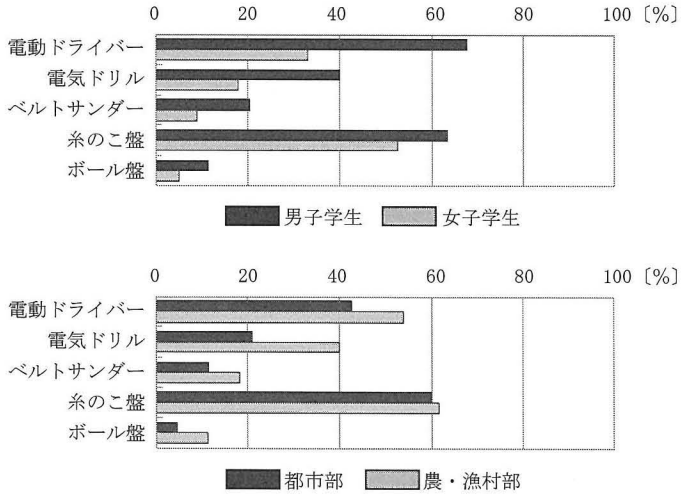
３－４．工作・栽培に関する技能の関連設問

（１）立方体の描画



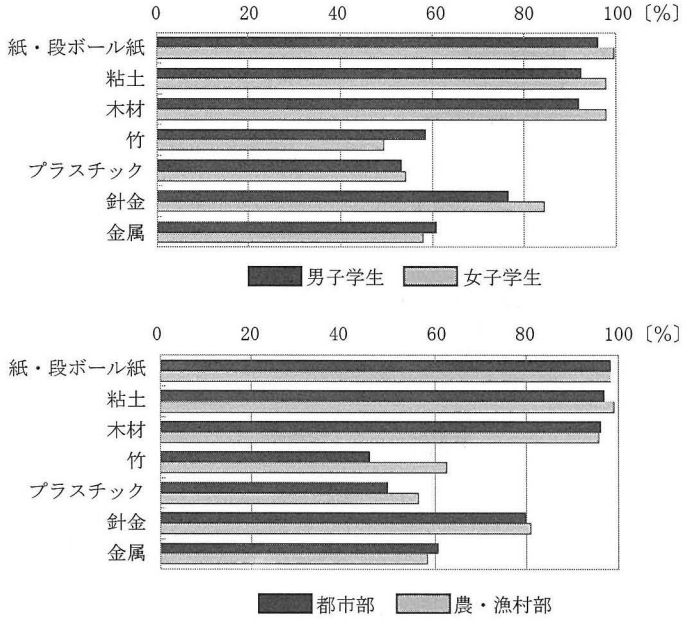
若干ではあるが、女子学生の方がよくできている。
地域によって、大きな差は見られない。

（２）使用できる電動工具



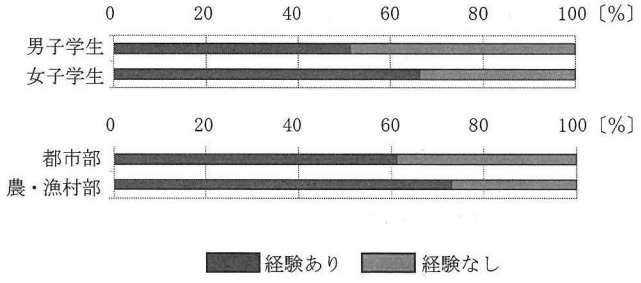
男子学生の方が圧倒的に工具を使うことができる。また比較的学校で使うことの多い糸のこ盤については、男女の差がやや小さい。
農・漁村部の学生の方が色々な電動工具を使える傾向にある。

（3）工作で使用したことがある材料



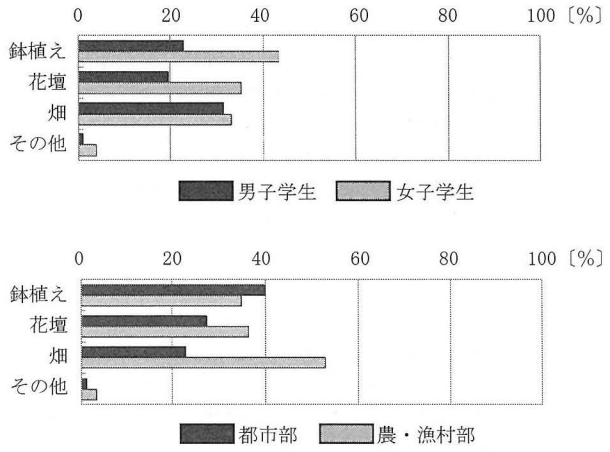
男女で大きな差はないが、竹や金属などは男子学生の方がより使用している。
全体的に大きな差は見られないが、竹に関しては農・漁村部の方が使用することが多い。

（4）学校以外での栽培経験



女子学生の方が栽培経験が多い。
農・漁村部の方が１割ほど経験が多い。

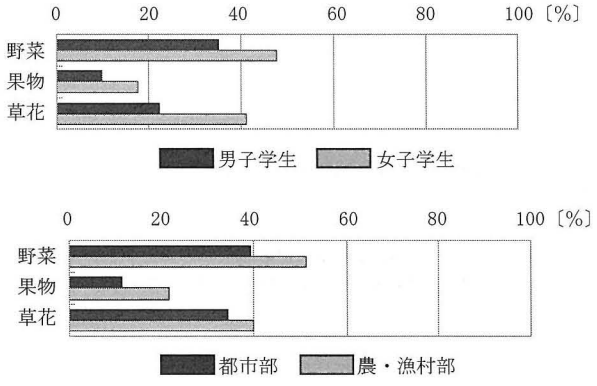
（５）学校以外での栽培時の栽培形態



男子学生は畑での栽培など大掛かりなものが多いが、女子学生は鉢植えや花壇での簡易的で小規模な栽培が多い。

鉢植えなどの簡易的な形態は都市部の方が高いが、畑などの大掛かりな形態は農・漁村部の方が高い。単純に都市部に畑がないということが影響しているのかもしれない。

（６）学校以外での栽培時に栽培したもの

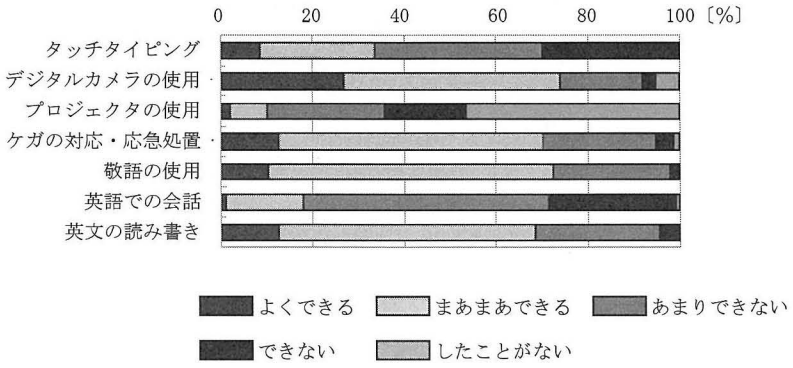


男子学生は比較的野菜が多かったが、女子学生は野菜に次いで草花も多く、また果物の栽培も多い。

栽培したものに関しては、共に野菜、草花、果物の順で地域による違いはない。

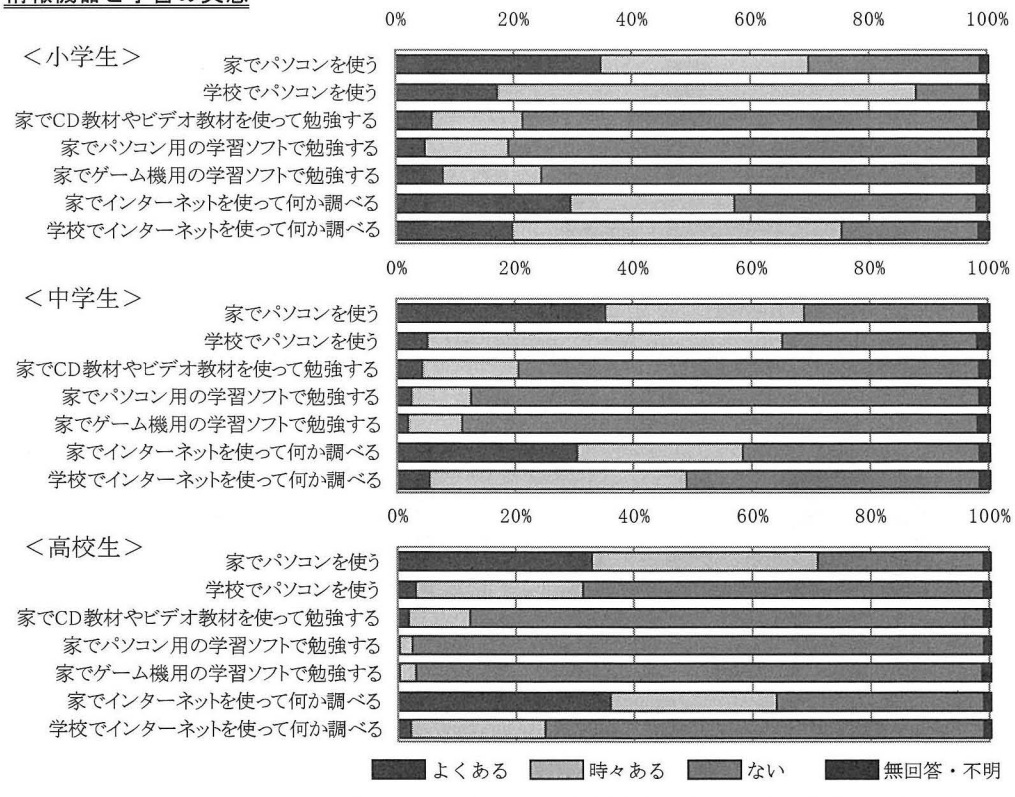
4．ICT活用・その他に関する技能

4－1．ICT活用・その他に関する技能の習得状況



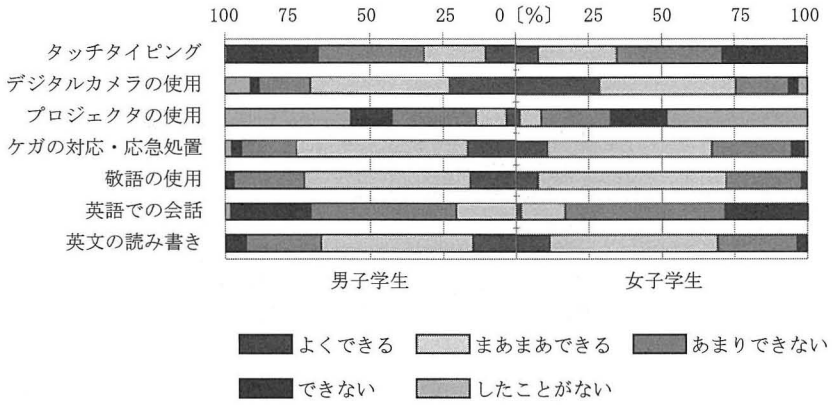
半数近くの学生が液晶プロジェクタを使用したことがないことが分かった。また、英会話はやはり苦手であるようだ。

情報機器と学習の実態



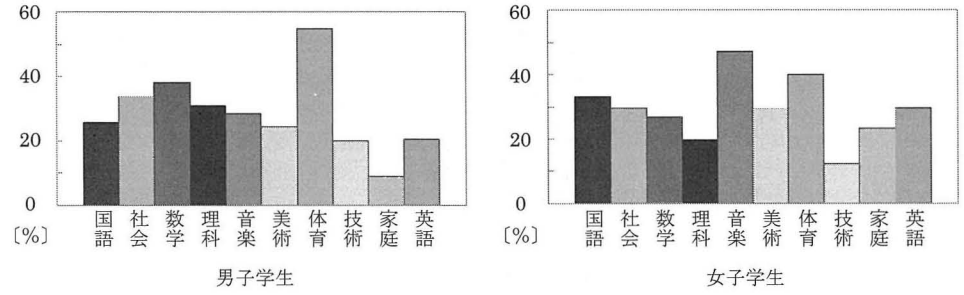
（Benesse　第4回 学習基本調査・国内調査結果（2006）より）

４－２．ICT 活用・その他に関する技能の男女別習得状況

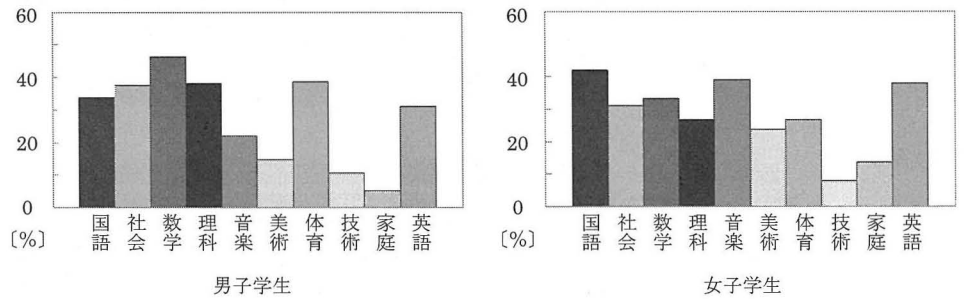


デジタルカメラの使用は女子学生の方がよくできるが、その他の技能は男子学生の方が高く、できる傾向にある。

中学の頃好きだった教科は？

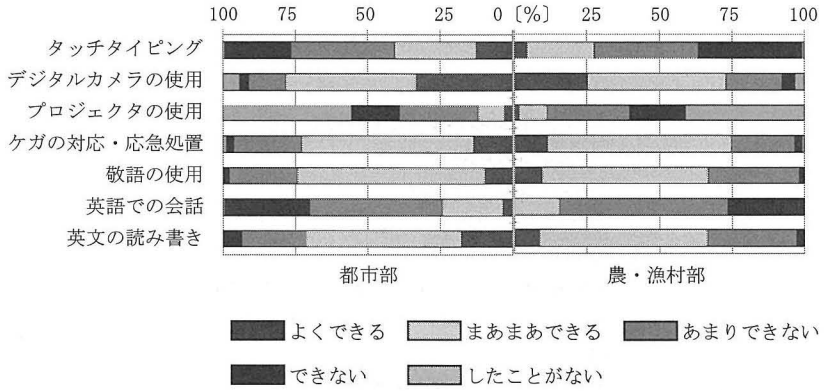


中学の頃得意だった教科は？



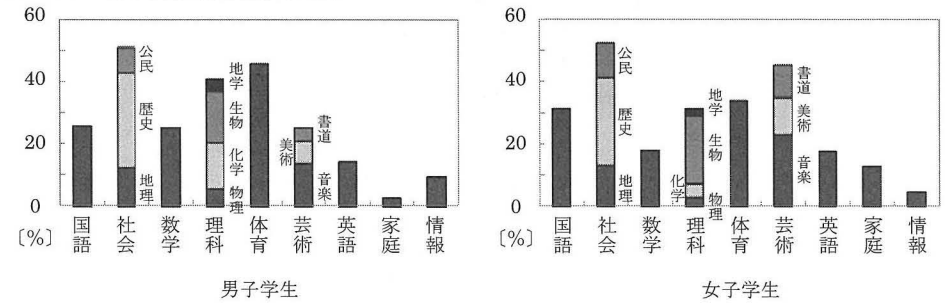
上位３教科を選択してもらった結果、小学生と違い「好き＝得意」な傾向にある。また男女ともに，音楽，美術などの副教科は「得意ではないが好き」，国語，社会，数学，理科，英語の主要教科「好きではないが得意」という傾向にあるようだ。

４－３．ICT 活用・その他に関する技能の地域別習得状況



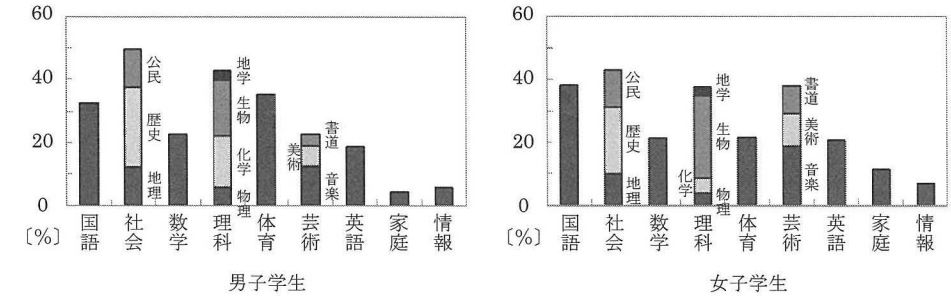
ICT 機器の活用に関しては、都市部の方が高い。
英語の技能に関しても、都市部の方がやや高い。

高校の頃好きだった教科は？



男子学生　　女子学生

高校の頃得意だった教科は？

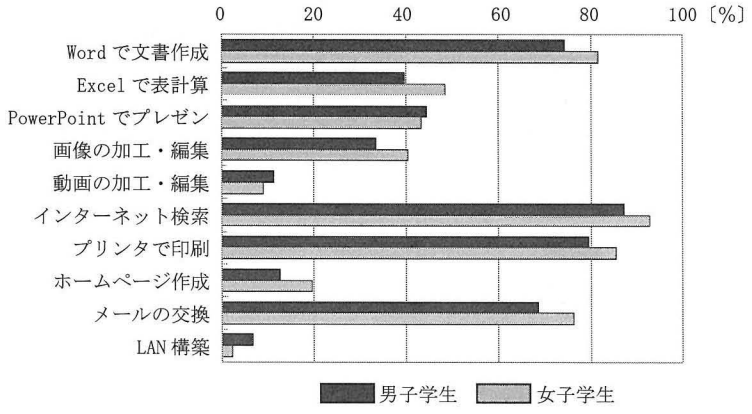


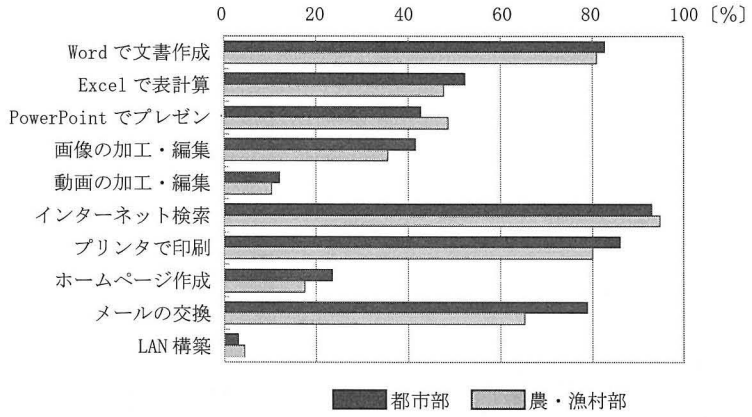
男子学生　　女子学生

上位３教科を選択してもらった結果、中学の頃同様「好き＝得意」な傾向にある。しかし中学の頃と違い，男女で好き（得意）な教科にほとんど差がなく，主要教科は男女ともに社会，理科，国語，数学，英語の順に好き（得意）な傾向にある。

４－４．ICT 活用・その他に関する技能の関連設問

（１）コンピュータ活用技能



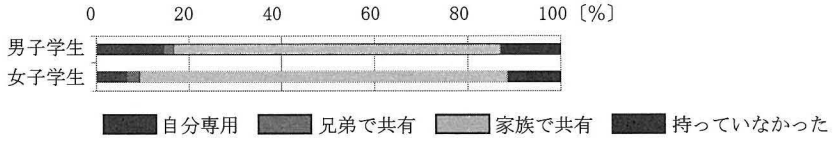


動画の加工・編集や LAN 構築など、より高度で専門的な技能は男子学生が高いが、その他の技能では女子学生の方が高く、女子学生の方がよく使いこなしている。

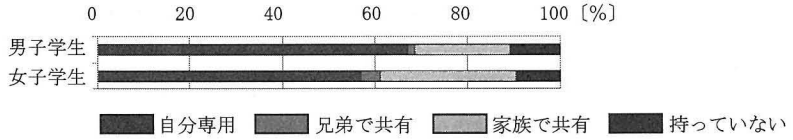
あまり大きな差はないが、都市部の方がやや活用することができている。

（2）大学入学前後のパソコン所持状況

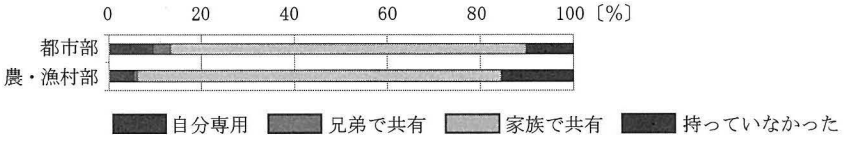
（入学前）



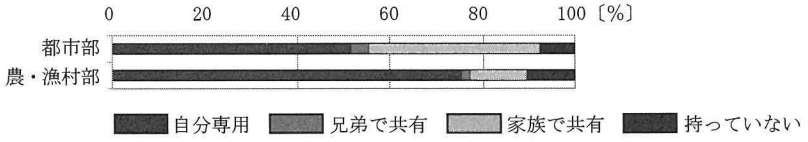
（入学後）



（入学前）



（入学後）

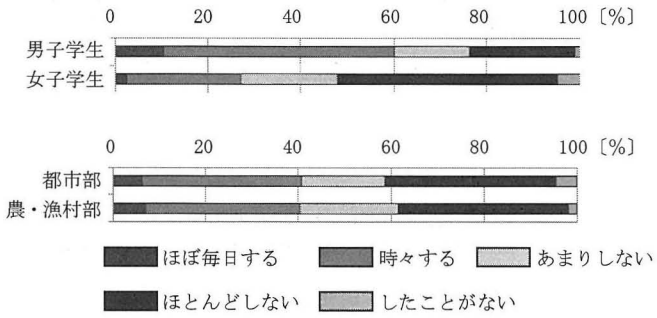


入学前は男子学生の方が自分専用のパソコンを持っており、入学後にもそれは変わらず男子学生の方が自分専用のパソコンを持っている。

農・漁村部の学生は入学前にほとんど自分専用のパソコンを持っていなかったが、入学後には 8 割近くの学生が自分専用のパソコンを持っている。一方、都市部の学生も入学後に自分専用のパソコンを持つようになっているが、5 割程度で、家族と共有して使っている学生も多い。これは農・漁村部の学生の方が一人暮らしが多いことに由来すると思われる。

５．その他・生活習慣等の関連設問

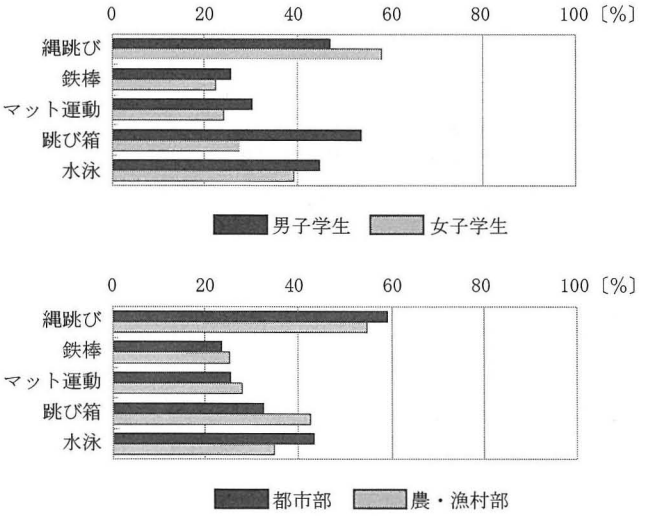
（１）コンピュータゲームの頻度



男子学生は6割程度が「する」と回答しており非常に多いが、女子学生は半数以上が「しない」と回答しており、男女差が大きく出た。

地域によって大きな差はないが、農・漁村部の学生の方が「したことがない」が少ない。

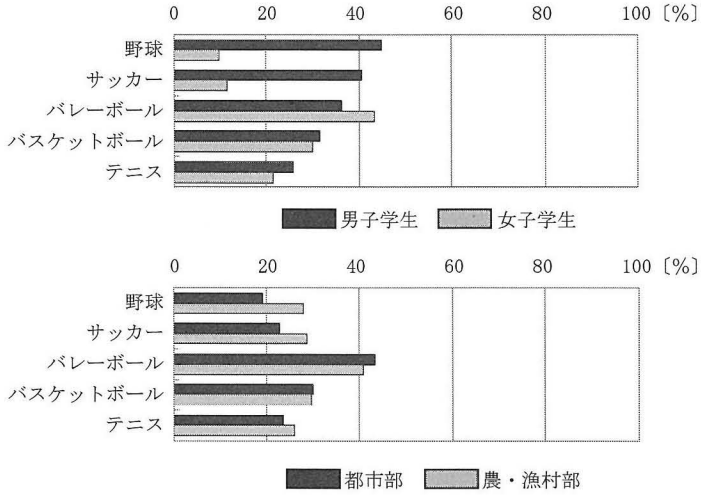
（２）得意な運動



縄跳びは女子学生の方が得意な傾向にあるが、その他の運動は男子学生が得意なようだ。特に跳び箱は男子学生が倍近く差をつけている。

あまり大差ないが、跳び箱は農・漁村部が、水泳は都市部が高い。

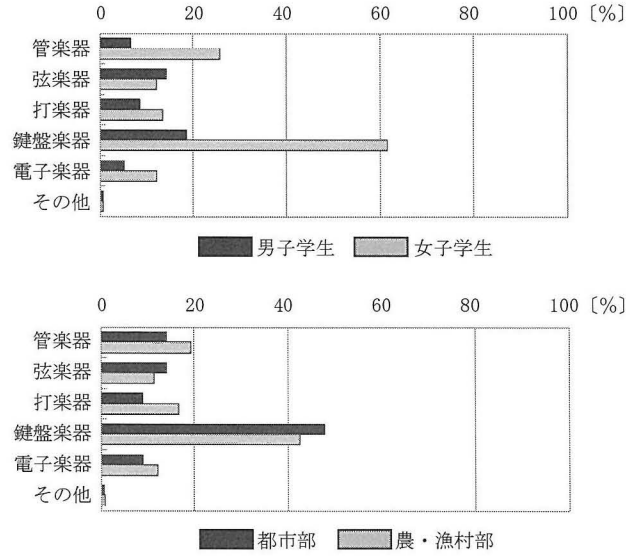
（3）得意な球技



バレーボールは女子学生の方が得意な傾向にあるが、その他の球技は男子学生が得意なようだ。特に野球、サッカーは男子学生が非常に大きな差をつけている。

あまり大差ないが、野球やサッカー、テニスなどの屋外球技は農・漁村部の方が高い。

（4）演奏できる楽器



弦楽器は男子学生が高いが、その他の楽器は女子学生の方が高い。特に鍵盤楽器や管楽器は男子学生に大きく差をつけている。

鍵盤楽器や弦楽器などは都市部が高いが、その他の楽器は農・漁村部の方が高い。特に打楽器は農・漁村部の方が高い。